科目名	デザインアイテム論［インテリア］（卒業必修）		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2021 年度 後期	単位数	2
担当教員	柴崎　恭秀		
内容および計画	インテリア・建築デザインを行なうには、インテリアの計画論から、材料、構造、構法、設計、施工、歴史、環境、法規などと、様々な知識が要求される。ここでは、建築、インテリアがいかなる材料で構成され、どのような構造でできているかを解説する。各構成材の内容と特長を理解し、構成材の選択、使い方のポイントを学ぶとともに、最近の建設事情を反映した問題点から、変化の時代に対応する考え方や今後の課題についても考える。		
1	空間を構成する要素		
2	床		
3	壁		
4	天井		
5	開口部（窓・戸）		
6	開口部（ガラス・補助部品）		
7	床の間・階段		
8	空間演出		
9	ウインドゥトリートメント		
10	照明		
11	家具（椅子・机・テーブル）		
12	家具（寝具・収納）		
13	設備		
14	アクセサリー・オーナメント		
15	販売・流通		

教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
図解辞典　建築のしくみ	建築図解辞典編集委員会	彰国社	4395100252	2001

参考書	1）中山繁信・松下希和・伊藤茉莉子　『世界で一番美しい名作住宅の解剖図鑑』エクスナレッジムック 2）中野明編　『インテリアデザイン』　建帛社 3）小宮容一　『インテリア構成材』　オーム社 4）渡辺優編　「図解インテリア・ワードブック」　建築資料研究社

成績評価

評価方法	割合(%)
小テスト	40
提出課題・レポート等	20
受講態度	20
出席状況	20

学習到達目標	建築・インテリア構成材の内容と特長を理解するとともに、構成材の選択、使い方のポイントを理解する。
先修条件	
実務経験	実務経験あり:大手設計事務所にて勤務後、設計事務所を設立。キャンパス計画や集合住宅、住宅等のインテリア・建築デザインに 15 年以上従事してきた。一級建築士として 20 年以上の経験を有す。この経験をもとに、インテリアデザイン、建築デザインの基礎、応用について教授する。
その他	